

令和8年10月2日

各位

高知市布師田 3992-4
高知県職業能力開発協会
(公 印 省 略)

職業訓練指導員講習（48時間講習）について（ご案内）

時下、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素より当協会の業務運営につきましては、格別のご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、標記の講習は、職業訓練指導員になろうとする者に対し指導技法を短期間に習得させるもので、修了者には申請により高知県知事から『職業訓練指導員免許証』が交付されます。

つきましては、この職業訓練指導員講習（48時間講習）を別添により開催する運びとなりましたので、関係者に周知・勧奨等について格別のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

記

1 講習日程

令和8年12月5日（土）～12月20日（日）のうちの6日間

2 講習会場

高知県立地域職業訓練センター
高知市布師田 3992-4 電話 088-846-2300

3 受講料

21,000 円(テキスト代・税込)

4 受付期間

令和8年10月19日(月)～11月24日(火)

令和 8 年度 職業訓練指導員講習(48時間講習)のご案内

この講習は、職業訓練指導員として必要な指導・訓練方法等の能力を短期間に習得してもらうために、職業能力開発促進法に基づいて「厚生労働大臣の指定する講習実施要領」により実施するものです。
なお、講習修了者には、本人の申請に基づいて、高知県知事から職業訓練指導員免許証が交付されます。

1 実施日時及び場所

講 習 日 時	講 習 場 所
令和 8 年 12 月 5 日(土)、6 日(日)、 12 日(土)、13 日(日)、 19 日(土)、20 日(日)、 の 6 日間 ※各日とも、午前 9 時から午後 5 時まで	高知県立地域職業訓練センター (高知市布師田3992-4)

2 講習科目及び時間

科 目	時 間	内 容
職業訓練原理	4 時間	職業訓練の沿革、職業訓練の意義、職業訓練の担当者
教科指導方法	16 時間	訓練実施計画、指導の準備、指導の進めかた、教材の活用、訓練評価
事例研究	6 時間	作業分解、指導案作成、訓練実施計画、指導記録の事例研究
関係法規	4 時間	職業能力開発促進法 職業安定法、労働基準関係法
労働安全衛生	3 時間	安全衛生の意義、災害原因と防止対策、安全衛生管理体制とその業務 安全の確保、労働と健康、労働衛生管理
訓練生の心理	7 時間	訓練生把握の意義、訓練生の選抜、訓練生の特質の理解 技能の習得、訓練生への対応
生活指導	6 時間	生活指導の意義、生活指導の分野、生活指導の方法
確認テスト	2 時間	
計	48 時間	

3 受講資格

別紙「受講資格一覧表」のとおり

4 募集定員

20 人

5 受講料

21,000 円(税込・テキスト『指導と理論と実際』代含)

受講料は12月5日の講習会初日に徴収します。(※職業訓練指導員免許申請に、県手数料が別途必要です。)

6 申込方法

受講希望者は次の書類を提出してください。

①職業訓練指導員講習受講申込書

②受講資格のあることを証明する書面(※受講資格については別紙「受講資格一覧表」をご確認下さい)

① 1 級又は単一等級技能検定合格証書の写し

② 学校教育法による学校を修了した者は卒業証明書及び専門科目についての履修証明書

③ 職業訓練等による修了者は修了証書(技能照査合格証書)の写し

③ 経験年数証明書

事業主又は所属事業協同組合等の発行するもの(技能検定合格者は必要ありません。)

④ 履歴書(写真不要)

7 申込期間

令和 8 年 10 月 19 日(月)～11 月 24 日(火)(土・日を除く)

※ 技能検定合格者(1 級又は単一等級)以外の受講資格については、審査に時間を要しますので、事前にお問い合わせください。

8 申込・問い合わせ先

高知県職業能力開発協会

〒781-5101 高知市布師田3992-4 高知県立地域職業訓練センター内

電話(088)846-2300

FAX(088)846-2302

令和8年度 職業訓練指導員講習 日程表

於：高知県立地域職業訓練センター
第2研修室

月日	時間	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
12月5日(土)	8:45	受付	9:00	10:10	職業訓練原理	(休憩)	職業訓練原理	14:30	関係法規 (労働基準法・職業安定法) 社会保険労務士 河内 英治		
		開講式	関係法規 (職業能力開発促進法)								
	担当講師	元訓練校指導員 畠山 芳直	元訓練校指導員 榎木 茂								
12月6日(日)	8:50	受付	9:00	労働安全衛生法	(休憩)		訓練生の心理・生活指導	元訓練校指導員 榎木 茂			
		(出席確認)									
	担当講師	労災防止指導員 田内 孝也									
12月12日(土)	8:50	受付	9:00	教科指導法	(休憩)		教科指導法				
		(出席確認)									
	担当講師	元訓練校指導員 畠山 芳直									
12月13日(日)	8:50	受付	9:00	訓練生の心理・生活指導	(休憩)		訓練生の心理・生活指導				
		(出席確認)									
	担当講師	元訓練校指導員 榎木 茂									
12月19日(土)	8:50	受付	9:00	教科指導法	(休憩)		教科指導法				
		(出席確認)									
	担当講師	元訓練校指導員 畠山 芳直									
12月20日(日)	8:50	受付	9:00	事例研究	(休憩)		事例研究	15:10	確認テスト(閉講式)	高知県職業能力開発協会 事務局	
		(出席確認)									
	担当講師	元訓練校指導員 畠山 芳直									

※使用テキスト：厚生労働省『職業訓練における指導の理論と実際』

(敬称略)

受 講 資 格 一 覧 表

職業訓練指導員講習を受講するには、次のいずれかに該当し、それぞれの経験年数を満たしている方に限られます。

No.	受 講 資 格	経験年数
1	一級又は単一等級の技能検定の合格者(但し、電子回路接続及びバルコニー施工除く)	0 年
2	学校教育法による大学卒業者(免許職種に関する学科を修了した者)	2 年
3	学校教育法による短期大学又は高等専門学校卒業者(免許職種に関する学科を修了した者)	4 年
4	免許職種に相当する「応用課程」の養成訓練の技能照査に合格した者	1 年
5	免許職種に相当する「専門課程」の養成訓練の技能照査に合格した者	3 年
6	免許職種に関し「専門課程」の養成訓練の修了者	4 年
7	免許職種に相当する「普通課程」の養成訓練の技能照査に合格した者	6 年
8	免許職種に関し「普通課程」の養成訓練の修了者	7 年
9	免許職種に関し「短期課程」(訓練時間700時間以上)の養成訓練の修了者	10年
10	免許職種に関し「専修訓練課程」の養成訓練の修了者	10年
11	外国の大学卒業者(免許職種に関する学科を修了した者)	2 年
12	免許職種に関し旧法の認定職業訓練(3年)又は技能者養成の修了者	7 年
13	学校教育法による高等学校卒業者(免許職種に係る学科を修了した者)	7 年
14	免許職種に関し旧法の職業訓練(2年・3600時間)、旧法の認定職業訓練(2年)修了者	8 年
15	免許職種に関し旧法の職業訓練(1年・1800時間)又は公共職業補導所(1年・1824時間)の修了者	10年
16	旧法施行前の失業保険法の職業訓練(1年・1824時間)の修了者	10年
17	都道府県が行う家事サービス職業訓練の担当者	0 年
18	免許職種に相当する昭和53年改正規則以前の特別高等訓練課程の技能照査合格者	3 年
19	免許職種に関し昭和53年改正規則以前の特別高等訓練課程の養成訓練の修了者	4 年
20	免許職種に相当する昭和53年改正規則以前の高等訓練課程の養成訓練の技能照査合格者	6 年
21	免許職種に関し昭和53年改正規則以前の高等訓練課程の養成訓練の修了者	7 年
22	免許職種に関し昭和53年改正規則以前の専修訓練課程の養成訓練の修了者	10年

No.1の技能検定合格者以外の受講資格については、審査に時間を要しますので、事前にお問合せ下さい。

【別表】職業訓練指導員免許職種(123職種)と技能検定職種との対応表

免許職種	技能検定職種
園芸科	園芸装飾
造園科	造園
森林環境保全科	
鉄鋼科	金属溶解
鋳造科	金属溶解／鋳造／粉末冶金／ダイカスト
鍛造科	鍛造
熱処理科	金属熱処理／金属材料試験
機械科	機械加工／放電加工／金型製作／工業彫刻／仕上げ／機械検査／機械保全／油圧装置調整／テクニカルイラストレーション／機械・プラント製図／切削工具研削
溶接科	
塑性加工科	金属プレス加工／工場板金／鉄工／建築板金
構造物鉄工科	鉄工
金属表面処理科	めっき／アルミニウム陽極酸化処理
電子科	電子回路接続／電子機器組立て／半導体製品製造／自動販売機調整
メカトロニクス科	電気機器組立て
電気科	電気機器組立て／自動販売機調整／電気製図
電気工事科	
コンピュータ制御科	
発電電科	
送配電科	
自動車製造科	内燃機関組立て
自動車整備科	
自動車車体整備科	
航空機製造科	
航空機整備科	
鉄道車両科	鉄工／鉄道車両製造・整備
造船科	鉄工
時計科	時計修理
光学ガラス科	眼鏡レンズ加工／光学機器製造
光学機器科	光学機器製造
計測機器科	
理化学機器科	家庭用電気治療器調整
製材機械科	切削工具研削／製材のこ目立て
内燃機関科	内燃機関組立て
縫製機械科	縫製機械整備
建設機械科	建設機械整備
建設機械運転科	
農業機械科	農業機械整備
冷凍空調機器科	冷凍空調調和機器施工
織機調整科	織機調整
織布科	
染色科	染色
ニット科	ニット製品製造
洋裁科	婦人子供服製造
洋服科	紳士服製造
和裁科	和裁
寝具科	寝具製作
帆布製品科	帆布製品製造
縫製科	布はく縫製
木型科	木型製作
木工科	木工機械調整／機械木工／家具製作／建具製作／製材のこ目立て
木材工芸科	漆器製造
竹工芸科	竹工芸
紙器科	紙器・段ボール箱製造
製版・印刷科	製版／印刷
製本科	製本
プラスチック製品科	プラスチック成形／強化プラスチック成形
レザー加工科	
ガラス科	ガラス製品製造
ほろろう製品科	ほろろう加工

免許職種	技能検定職種
陶磁器科	陶磁器製造
ブロック建築科	れんが積み／ブロック建築／エーエルシーパネル施工
石材科	石材施工／コンクリート積みブロック施工
麺科	製麺
パン・菓子科	パン製造／菓子製造
食肉科	ハム・ソーセージ・ベーコン製造
水産物加工科	水産練り製品製造
発酵科	みそ製造／酒造
建築科	建築大工／枠組壁建築／バルコニー施工／建築図面製作／サッシ施工
屋根科	かわらぶき
とび科	とび
左官・タイル科	左官／タイル張り
築炉科	れんが積み／築炉
畳科	畳製作
配管科	配管／浴槽設備施工
住宅設備機器科	
さく井科	さく井／ウェルポイント施工
建設科	型枠施工／鉄筋施工／コンクリート圧送施工
枠組壁建築科	建築大工／枠組壁建築／バルコニー施工／建築図面製作
プレハブ建築科	
スレート科	スレート施工
建築板金科	建築板金
防水科	防水施工
インテリア科	内装仕上げ施工／表装
床仕上げ科	内装仕上げ施工
熱絶縁科	熱絶縁施工
サッシ・ガラス施工科	カーテンウォール施工／ガラス施工／サッシ施工
土木科	ウェルポイント施工
測量科	
ボイラー科	
クレーン科	
港湾荷役科	
化学分析科	化学分析
公害検査科	
漆器科	漆器製造
貴金属・宝石科	貴金属装身具製作
印章彫刻科	印章彫刻
表具科	表装
塗装科	塗装／塗料調色
広告美術科	広告美術仕上げ
義肢装具科	義肢・装具製作
フォークリフト科	
電気通信科	
電話交換科	
工業包装科	工業包装
事務科	
貿易事務科	
流通ビジネス科	
介護サービス科	
写真科	写真
理容科	
美容科	
ホテル・旅館・レストラン科	
観光ビジネス科	
建築物衛生管理科	ビルクリーニング
建築物設備管理科	ビル設備管理
日本料理科	調理
中国料理科	
西洋料理科	
臨床検査科	
デザイン科	
フラワー装飾科	フラワー装飾
情報処理科	

職業訓練指導員講習受講申込書

高知県職業能力開発協会 御中

令和 年 月 日

コ ー ス 名		職業訓練指導員講習(48時間講習)	
受講資格(該当No.を記入)		No. _____	※必要な経験年数 _____ 年
免 許 職 種		_____ 科	
欠 格 事 項	1.成年被後見人又は被補佐人に該当	する・しない	
	2.禁固以上の刑に処せられたことの有無	有・無	
	3.職業訓練指導員免許の取消を受けたことの有無	有・無	
受講者	ふ り が な 氏 名	_____	男・女
	現 住 所	〒 _____	
	生 年 月 日	昭和・平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日生(年齢 _____ 才)	
	電 話 番 号	自宅電話 : (_____) _____ 携帯電話 : (_____) _____	
勤務先	名 称	_____	
	所 在 地	〒 _____	

	電 話 番 号	_____	
	F A X 番 号	_____	

※申込でご提供いただいた個人情報は、本人への連絡および受講資格の有無確認(高知県庁や経験年数証明書に記載された企業・団体への連絡等)等の本講習に関して利用し、それ以外の目的で利用することはありません。

経験年数証明書

ふりがな 氏名	生年月日 昭和・平成 年 月 日生
現住所〒	

上記の者は、下記の職務に従事したことを証明します。

事業所名称 及び所在地	地位 職名	職務内容 (具体的に記入)	従事した 期間	
			年 月 日 自 年 月 日 至	年 月
			年 月 日 自 年 月 日 至	年 月
			年 月 日 自 年 月 日 至	年 月
計				年 月

令和 年 月 日

証 明 者	住所	
	事業所名 又は 団体名称	TEL
	代表者名	印

履 歴 書

令和 年 月 日 現在

ふりがな 氏 名				生 年 月 日	昭和 年 月 日 生	
	⑩				平成 (満 才)	
現住所	〒			電 話 番 号	自宅:()	
					携帯:()	
学 歴	昭和	平成	年	月	(訓練歴を含む学科 または 専攻科目を記入)	
職 歴	昭和	平成	年	月	勤 務 先 及 び 所 在 地	職 務 内 容
資 格 ・ 免 許 等	昭和	平成	年	月	資 格 免 許 の 名 称 等	

学歴は入学・卒業の年月 職歴は就職・退職年月を記入すること。